

中世ヨーロッパとルネサンス

名前 _____

_____ 月 _____ 日

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

今日の問い

中世から16世紀のヨーロッパで、文化や宗教はどのように変わったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 中世ヨーロッパとイスラム世界

中世の世界

1 カトリックの最高指導者。中世に大きな権威を持った。

中世のヨーロッパでは、キリスト教が人々の生活や考え方に大きな影響を与えた。キリスト教(カトリック)の最高指導者である 1 ローマ教皇 は、各地の国王や貴族をこえるほどの大きな権威を持つこともあった。

4 聖地エルサレムを取り戻すため、教皇の呼びかけで送られた軍。

西アジアや北アフリカには、7世紀に成立した 2 イスラム教 を中心とする

3 イスラム教を中心とする世界。学問や商業が発達した。

3 イスラム世界 が広がり、商業や数学・医学などの学問が発達した。聖地エルサレムがイスラム勢力に支配されると、11世紀末から教皇の呼びかけで 4 十字軍 が何度も送られたが、最後は目的を果たせなかった。

イスラム世界では、古代ギリシャの書物がアラビア語に翻訳されて保存された。十字軍や地中海の貿易を通じて、これらの学問はのちにヨーロッパにも伝えられた。

2 ルネサンスと宗教改革

文化と宗教の変化

5 14世紀にイタリアで始まった、古代の文化を見直す動き。

14世紀のイタリアでは、イスラム世界から伝わった学問なども取り入れながら、古代ギリシャ・ローマの文化を見直し、人間らしさを重んじる 5 ルネサンス (文芸復興)が始まった。「モナ・リザ」を描いた 6 レオナルド・ダ・ビンチ や 7 ミケランジェロ らが、すぐれた作品を残した。

9 1517年にルターが始めた、カトリック教会を批判する運動。

12 宗教改革に対抗してできたカトリックの組織。海外布教に努めた。

1517年、ドイツの 8 ルター は、教会が免罪符(贖宥状) ^{めんざいふ しよくゆうじょう} を売ることを批判し、聖書を信仰のよりどころとするよう説いた。こうして始まった 9 宗教改革 はスイスの 10 カルバン らにも広がり、その考えに従う人々は 11 プロテスタント とよばれた。15世紀に改良された活版印刷術によって、聖書やルターの考えは各地に広まった。

これに対し、カトリック側は 12 イエズ会 をつくって勢力を立て直そうとし、アジアやアメリカ大陸への布教に力を入れた。

できた / 12